

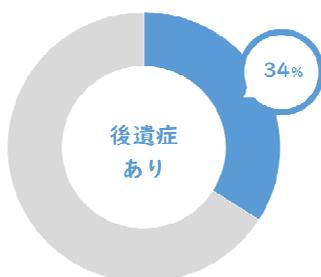
新型コロナウイルスの 後遺症について

新型コロナウイルス感染症に罹患した方で、倦怠感や息切れ・息苦しさなどの症状（一般に後遺症と呼ばれます）が一定程度続くことが分かっています。

時間経過とともに改善する傾向があるものの、現段階では原因は分かっておらず、不安が募ると、症状がさらに持続・悪化することもありますので、後遺症が疑われる場合は、かかりつけ医など、身近な医療機関に受診・相談してください（詳細は裏面参照）。

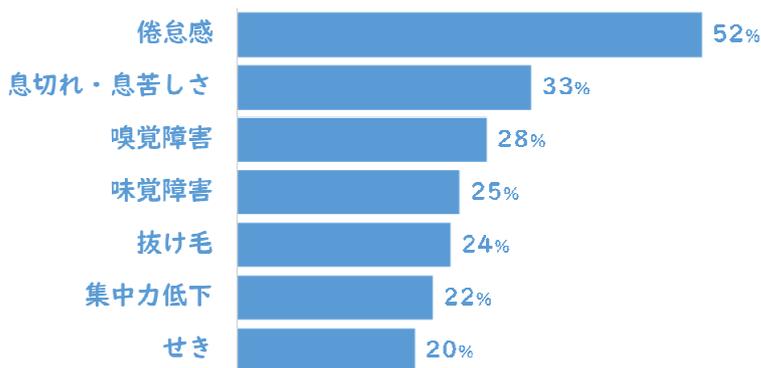
広島県実態調査結果の紹介

状況



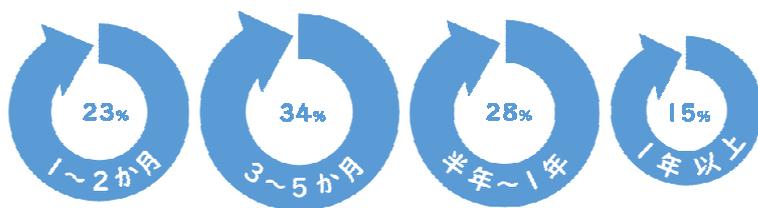
県内の新型コロナウイルス感染症患者 954 人の 34%が、後遺症を感じており、そのうちの 38%が、社会生活への影響があると回答しています。

主な症状



全身症状，呼吸器症状，精神・神経症状など，多岐にわたっており，後遺症を感じる方の約8割が複数の症状を訴えています。

持続期間



半数以上が5か月以内に症状の改善を感じる一方，1年以上持続する場合があります。

なりやすい要因

要因	後遺症の割合	
	重症者	無症状者
感染時の重症度※	61%	5%
喫煙	21本以上/日 60%	喫煙なし 33%
年代	40代・50代 53%	その他の年代 29%
感染時の症状の数	5つ以上 51%	4つ以下 24%
体型	肥満型 43%	やせ型 19%

重症者（感染時），喫煙（21本以上/日），40代・50代，感染時に5つ以上症状がある方，肥満が，後遺症になる割合が高い傾向にあります。

※重症化を防ぐワクチン接種は，後遺症の抑制につながる可能性があります。

広島県実態調査の詳細は，県ホームページで確認ください。



症状の紹介 ～広島県実態調査結果から～

倦怠感



- ・ 最も多くみられる症状（52%）
- ・ 特に40代以上の方に多く見られ、高齢になるほど、持続期間が長い傾向にあります。
- ・ 「診療の手引き」によると、呼吸機能や運動耐容能と関連している場合もあり、呼吸リハビリテーションが効果的とされています。

息切れ
息苦しき



- ・ 3か月後も約8割が改善していないなど、持続期間が長い症状
- ・ 「診療の手引き」によると、明確に感染時の重症度に依存するとされています。
- ・ 悪化傾向にある場合などは早期にかかりつけ医などへ相談することが重要です。

味覚障害
嗅覚障害



- ・ 30代以下の方に多くみられる症状
- ・ 嗅覚障害は、半年以内に改善する場合があります。
- ・ 「診療の手引き」によると、味覚障害は嗅覚障害を伴う場合が多く、嗅覚障害による風味障害も発生しているとされています。

抜け毛



- ・ 4分の1の方にみられ、女性の訴えが多い症状
- ・ 持続期間が長く、半年程度から徐々に改善がみられます。

低下
集中力



- ・ 中枢神経系の症状で、ブレインフォグ（脳の霧）と呼ばれる頭がぼーっとする症状もみられます。
- ・ 「診療の手引き」によると、倦怠感も併発する機会が多いとされています。

せき



- ・ 呼吸器症状のうちでは、息切れ・息苦しさに次いで頻度が高い症状（20%）
- ・ 「診療の手引き」によると、3～6か月以上持続する場合は、専門医による診断が必要とされています。

「診療の手引き」：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント

後遺症かなと思ったら

新型コロナウイルスの後遺症は、多くの場合、かかりつけ医などの身近な医療機関が専門医と連携して対応できるものと考えられています。このため、広島県においては、次のとおりの相談・診療体制を整備していますので、後遺症が疑われる場合は、かかりつけ医など、身近な医療機関に受診・相談してください。

後遺症を疑う症状がある場合



- ・ 日常生活に支障
- ・ 4週間以上長引く



受診・相談

身近な医療機関※
（かかりつけ医等）



- 他の疾患の可能性も踏まえ診療
- 経過観察、対処療法
- リハビリテーション

※ 広島市医師会調整の後遺症診療医療機関を含む

必要に応じて紹介

後遺症連携病院
（22病院（非公表））



- 総合的な診療
- 主要な症状に適した診療

保健所：療養解除時に、新型コロナ後遺症を疑う場合の対応を説明
積極ガードダイヤル

082-241-4566（広島市内の方）
0823-22-5858（呉市内の方）
084-928-1350（福山市内の方）
082-513-2567（上記市以外の方）